

平成30年度 各特別会計及び水道事業会計の予算審議 全会計 賛成多数で可決されました。

総務民生常任委員会 委員長報告

○国民健康保険特別会計

予算総額 15億1,430万円

特定検診の受診率は32%程度で推移している。本年度より受診料を無償化し、受診率向上に向け取り組む。広域化に伴い、保険料の収納率向上や、健康づくり等の取り組みを強化する。

○後期高齢者医療特別会計

予算総額 1億6,030万円

本年度より実施される歯科検診は、広域連合が受診案内から、費用負担まで行う。住民の個人負担はない。

○介護保険特別会計

予算総額 11億9,230万円

町内全44地区にいきいき百歳体操を広げ、居場所としての機能を付加する取り組みを継続する。

○国民健康保険診療所特別会計

予算総額 8,670万円

診療所における医薬品のジェネリック対応は患者の意向に沿い調剤し、医療費の抑制にも取り組む。

環境教育常任委員会 委員長報告

○農業集落排水事業特別会計

予算総額 2,760万円

接続数は、杉原32件、天王43件 宅内の配管等の改修など課題はあるものの接続率向上に向け引き続き取り組む。

○下水道事業特別会計

予算総額 3億5,820万円

第5期の計画戸数は、企業を含め230件程度 物件補償2,630万円は水道管移設を見込む。

○水道事業会計

予算総額 7億7,607万円

給水件数4,263件、年間総給水量1,083,100^m 施設の運転管理費や水道管の更新及び大阪広域水道企業団水道の受水等に要する経費を計上する。